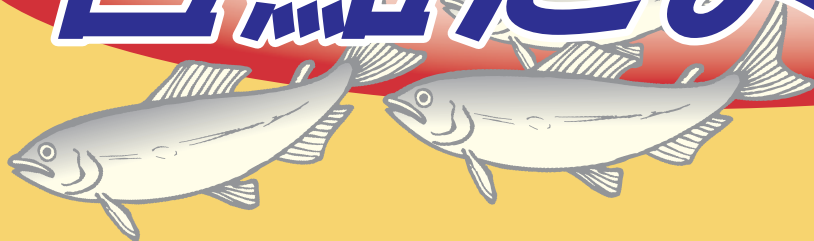


# 若鮎だより

第64号



2024  
冬号

ご自由にお持ち帰りください。

## ◇主な内容

年頭のご挨拶 .....	1
初春のご挨拶 .....	2
トピックス① .....	3
トピックス② .....	4
トピックス③ .....	5
診療科紹介 .....	7
職場紹介 .....	8
県民健康講座 .....	9
地域医療機関紹介 .....	11
トピックス④、新任者紹介 .....	12
トピックス⑤、研修医日記 .....	13
感染管理科だより、編集後記 .....	14



愛宕山にて初日の出（臨床工学科 出水拓也さん撮影）

宮崎県立延岡病院

〒882-0835 延岡市新小路2丁目1-10

TEL 0982-32-6181

FAX 0982-32-6759

URL: <https://nobeoka-kenbyo.jp>



# 年頭のご挨拶

院長 寺 尾 公 成



## ～「カーボンニュートラルと医療」～

新年明けましておめでとうございます。2024年の幕開けにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。コロナ禍冷めやらぬ元日のニューイヤー駅伝で当地旭化成チームが昨年の16位から意地の3位に入り、今年の干支「辰年」としてますますのスタートを切ったかと思っただけの間、「能登半島地震」が日本中を震撼させることになりました。被災されました方々に衷心より弔意とお見舞いを申し上げます。そして1月2日には、日本の空の玄関口、羽田空港で航空機同士が衝突するといった大惨事が発生し、全国の空港で大きな混乱が起こり、年末年始の人の往来に多大な影響をもたらしました。近年、類を見ない新年のスタートになったのではないのでしょうか。

さてここ数年、見聞する機会が増えてきましたが、「カーボンニュートラル」という言葉に皆さんはどういった印象をお持ちでしょうか。受け売り情報になりますが、2020年10月に、日本政府が「2050年までに温室効果ガス（二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロン類）の排出をゼロにする」と宣言しました。温室効果ガスには、太陽から放出される熱を地球に閉じ込めて地表を温める働きがあり、この働きにより、地球の平均気温は約14℃に保たれているのです。もし温室効果ガスがなくなると、地球の平均気温は-19℃になるとされています。地球温暖化の原因として悪玉扱いにされている温室効果ガスですが、実は地球にはなくてはならないものなのです。ただ「過ぎたるは及ばざるが如し」ということです。温室効果ガスの7割強を占める二酸化炭素の主な発生源は、石炭や石油など化石燃料の燃焼とされています。そこで、温室効果ガスの排出をゼロにすることは現実的に不可能なため、温室効果ガスの排出量から森林などによる吸収量を差し引き、実質ゼロにする対策をおこなうことを宣言しました。具体的には、再生可能エネルギーの有効利用の徹底や電気自動車を主流にする等といった対策が講じられています。

では、我々医療界とカーボンニュートラルにいったい何の関係があるのでしょうか。私は医療界に必要とされるバランス感覚こそが、まさにカーボンニュートラル問題と類似しているように思えてならないのです。実際、オーストラリアからの報告によると、激甚災害が増えている昨今、カーボンニュートラルが進まない状況では災害医療が非常に逼迫してくることが述べられています。当院においては、充実の一途を着々と進んでいる救急医療と産声を上げたばかりの総合診療が表裏一体となって歩み続けることに、カーボンニュートラルの妙が存在するように思えてなりません。

2類から5類相当に引き下げられたとは言え、消滅したわけではない「With CORONA」の最中、宮崎県北地区を中心とした県民の皆さんとともに、カーボンニュートラルな医療の世界を見据えて、進化していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

**“医療とは、理路整然とした科学と、心溢れる情熱の融合である。”**



# 初春のご挨拶

看護部長 藻原 せつ

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、生活に自由が戻ってきた今年のお正月は、どのようにお迎えでしょうか。だれもが、2024年は平穏無事な年となりますようにと願っていたことでしょう。しかしながら、自然は、お正月という家族団らんの時に容赦なく災害をもたらしました。そして、二次災害ともいえる飛行機事故が続き、重苦しい年明けとなってしまいました。それでも人は、時間をかけながらも声を掛け合い、心に寄り添い、知恵を出し合って乗り越えてきています。宮崎県北に住む私たちにも災害はいつか訪れます。道が寸断され孤立したときにも、支援が届くまでの間、地域で助け合うことが大切です。一人一人が、日頃よりご自身ができるセルフケアに努め、地域との繋がりをもつことを心がけていきましょう。

現在、当院の医師・看護師・メディカルスタッフは、患者さんの住み慣れた地域・ご自宅に戻っていただくことを大切にしております。入院時から患者さんの住み慣れた生活環境の把握に努め、お考えやご意向を伺い、退院後の生活を考えながら治療・看護ケアにあたっております。昨年、リハビリテーション室が広くなりました。さらに第2土曜日のリハビリを開始し、患者さんが日常の自立した生活ができるように私共も努めております。また、多くの患者さんが外来で化学療法が継続できるよう外来化学療法室も拡大しております。そして、高齢の患者さんが急な入院で困惑してしまわないよう、12月から7階で小規模ディケアを開始しております。ディケアでは、歌声やご家族との笑い声が聞こえてきます。高齢の患者さんの緊張が少しでも緩和され、治療が進むようケアに努めております。急性期医療機関である県立延岡病院の現場においても、このような取り組みを開始しております。

2024年は辰年です。辰は、十二支で唯一の想像上の動物で、陽気が振動する年と言われています。私共も様々な変化に柔軟に対応できるよう精進して参ります。

どうぞ、今年も宜しく願いいたします。

## 能登半島地震の災害医療支援のための DMAT派遣に伴い、出発式をおこないました!

「令和6年度能登半島地震」への医療対応として、1月1日の発災当初より被災した石川県の近隣の都府県から災害派遣医療チーム（Disaster Medical Assistance Team：頭文字をとって「DMAT（ディーマット）」と呼ばれています）が派遣され、災害時の医療活動がおこなわれています。

当院でも発災直後からDMAT派遣に向けた準備を進めておりましたが、1月13日に厚生労働省DMAT事務局より沖縄県を除く九州各県にもDMATの派遣が要請されました。

宮崎県は当院のDMATが第1次隊として派遣されることになりました。派遣されるメンバーは、救命救急科の畠中健吾医師をリーダーに、看護師2名、業務調整員3名の6人です。1月15日に現地に向けて出発し、活動期間は1月17日～20日までの4日間が予定されています。活動内容は、被災地内の救護所の運営や避難所の巡回診療、さらには停電や断水のなか医療を提供し続けている病院の支援などが想定されています。



DMATに激励を送る寺尾院長と金丸救命救急センター長



意志表明する畠中医師(DMAT隊員)



出発式の様子



DMAT見送りの様子



### 看護部からも派遣します!

全国自治体病院協議会から看護師派遣依頼があり、2月に当院から2名の看護師を派遣します。その他にも看護協会からの派遣依頼や各団体からの二次派遣の計画もあり、今後も要請に応じて参ります。派遣された職員は、厳しい環境の中、強い使命感で活動していますし、病院に残った職員は、派遣された職員の無事を願いながら、目の前の患者さんのために頑張っています。被災地への思いを馳せながら、日々の生活が送れることに感謝しつつ、いつか自分たちの身に起こるであろう災害に備えたいと思います。

# 「ありがとうカレンダー」を いただきました!



令和5年12月14日(木)、  
県北の地域医療を守る会  
から、「ありがとうカレン  
ダー」をいただきました。

カレンダーは延岡市内  
の子どもたちが消しゴム  
はんこで制作したもので、  
医療従事者へ感謝の気持  
ちを込めた心温まるデザ  
インとなっています。

県立延岡病院の講堂で「ありがとうカレンダー」の贈呈式をおこない、当院を訪れた6人の小学生から、院長の寺尾先生、循環器内科の黒木先生、産婦人科・周産期科の山内先生が、カレンダーと感謝のお手紙、花束を受け取りました。

代表の小学生からは、「これからも地域医療やたくさんの命を守ってください」という感謝の言葉を頂きました。

先生方からは、「毎日カレンダーを欠かさず見えています。」「エールを感じ、これまで以上に頑張っていきます。」「いつも見て励みになり、心強く思っています。」と、お礼を伝えました。

贈呈式の終了後、子どもたちは救命救急センターにてドクターカーを見学しました。



令和5年11月11日(土)  
消しゴムはんこでカレンダーを作る子どもたち



カレンダーとお手紙贈呈



ドクターカーを見学する子どもたち



# こころほかほかコンサートを開催しました

令和5年12月9日(土)に、当院2階講堂において「第21回 こころほかほかコンサート」を開催しました。当コンサートは平成13年から開催していますが、今回はコロナ禍を経て4年ぶりの開催となりました。5組の出演者による合唱や演奏がおこなわれ、多くの患者さんに心温まるひとときを提供いただきました。

## コンサートプログラム



### 1. 旭化成延岡合唱団

代表：吹田 一人 指揮：石橋 直美 伴奏：山之口 圭子  
 曲目：①また君に恋してる、②story、③汽車ポッポ

### 2. 津野田音楽院&延岡少年少女合唱団

代表：津野田 千恵 指揮：工藤 由紀子 伴奏：津野田 千恵  
 (1)イングリッシュ・ハンドベル  
 曲目：①ふゆ (たき火、お正月、雪)、②ジングルベル  
 (2)イングリッシュ・ハンドベル&合唱  
 曲目：①汽車ポッポ、②証城寺の狸囃子、③赤鼻のトナカイ



### 3. 県立延岡病院こころほかほか合唱団

代表：山下 康洋  
 曲目：あわてんぼうのサンタクロース



### 4. アコーディオン弾きの小児科医とバイオリン弾きの小児科医

演奏：佛淵 尚人 (アコーディオン) 久保田 カ (バイオリン)  
 曲目：G線上のアリア、クリスマスメドレー、冬メドレー他

### 5. 院内コンビニスタッフの親子によるピアノ連弾

演奏：中島 香純 (ソロ)・中島 抄織 (連弾)  
 曲目：(ソロ)①ショパン エチュード Op.25-1 「エオリアンハープ」  
 ②シューマン=リスト編「献上」  
 (連弾)③Club IKSPIARI  
 ④勇気100%



入り口



司会者：(左)湊師長、(右)山下副院長



旭化成延岡合唱団



津野田音楽院 & 延岡少年少女合唱団



アコーディオン弾きの小児科医(佛淵先生)と  
バイオリン弾きの小児科医(久保田先生)



院内コンビニスタッフの中島親子によるピアノ連弾  
香純さん(手前)・抄織さん(奥)



県立延岡病院ころほかほか合唱団

参加した  
患者さんの  
感想

- 楽しい時間をありがとうございました。(10代男性)
- 100%元気になりました。(80代女性)
- コンサートをこれからも継続してください。(70代女性)
- とても満足しました。(80代男性)

# 診療科紹介

## 循環器内科



当科は、10年前は3名でしたが、現在7名の医師で診療をおこなっております。

近年、心不全入院が急増（10年前の2倍以上）しています。心不全を引き起こす一番の原因は、虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞等）です。その治療の中核はカテーテル治療（PCI）です。PCIの進歩は目覚ましく、当院でも新しい補助循環装置（インペラ）を県内2番目に導入し、これまでは困難であった複雑病変やショック状態の患者の救命も可能となりました。

心不全を引き起こすもう一つの原因は不整脈（心房細動）ですが、これもカテーテル治療（アブレーション）が大きな役割を担ってきています。当院でも宮崎大学・熊本大学と連携して治療を開始いたしました。

PCIやアブレーションをおこなう心臓カテーテル室を2室もつ心臓脳血管センターが2019年に竣工し、医師数も増加し、高度医療をおこなう環境が整いつつあります。さらに今年度中には頭部や大動脈などの血管治療も可能なAngio室（ハイブリッド手術室）も完成予定です。

県北の拠点病院として高度最先端医療も自己完結可能となるようチーム一丸となつ

## 外科



当科では、手術数の増加に伴い4名から増員され現在5名で構成されています。

診療の対象は消化器悪性腫瘍を中心に小児疾患や乳腺疾患にも対応しています。治療は体に優しい治療として内視鏡治療や腹腔鏡手術主体におこなっています。腹腔鏡手術は定期手術以外に緊急手術でもおこなわれており、対象疾患や手術適応も拡大してきています。

切除困難な悪性腫瘍も、抗がん剤治療や放射線治療を組み合わせることにより、手術が可能となる症例も増加傾向にあり、集学的治療も充実してきています。

胆管結石や腫瘍による胆管の狭窄や胃や大腸の腫瘍による通過障害に対しても内視鏡下にステントを留置することにより、消化管バイパス手術や人工肛門手術が回避できることが多くなりました。

宮崎県北の最後の砦として、安全安心な高度医療を提供できるよう切磋琢磨しています。



# 職場紹介

## 3階東病棟



3東病棟は、脳神経外科と救命救急科、総合診療科からなる混合病棟です。脳神経外科医師3名、救命救急科医師4名、総合診療科医師1名、看護師27名、看護補助者4名、夜間専従ヘルパー3名、クランク2名で構成されています。

脳神経外科では、脳血管疾患・頭部外傷・脳腫瘍などで救急搬送され、その病気の特徴から意識障害・運動障害・嚥下障害などの障害を持っている患者さんが多く入院しています。救命救急科は、多発外傷や敗血症・呼吸不全や意識レベル低下など、また総合診療科は、原因不明の熱発や消化器症状など多様な患者さんを受け入れています。脳神経外科、救命救急科、総合診療科いずれも、救急搬送された患者さんの多くが、病状の変化が大きく日常生活に援助が必要になります。患者さんやご家族の不安に耳を傾け、少しでも口から食べることや座ることができると、一緒に喜び合っています。

3東病棟では医師、看護師、ナースエイドやヘルパーに加えリハビリテーション科、管理栄養士、薬剤師、医療相談員などの多くの職種と協力して患者さんの持てる力を信じ、地域に繋ぐことを目標に、その先の生活を考えながら支援しています。

## 総合受付窓口・医事事務室



1階の総合受付窓口と医事事務室では、初めて当院を受診された方の診察券の発行や各診療科のご案内をおこなうとともに、外来での診療や入院される患者さんの医療費の計算と会計業務、高額療養費制度のご案内や診療報酬点数表に基づく保険請求などの業務をおこなっています。

このような医療事務の業務は、専門的な知識や経験とともに豊かな人間性が求められる大変やりがいのある仕事です。これからも一人一人が丁寧な対応を心がけ、誇りを持って業務に当たりたい

と思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、総合受付窓口では外来患者さんが車内などのお好きな場所で呼び出しを待つことができる「スマートチェックイン・患者呼出サービス」や外来診療後の診療費の計算を待たずにそのまま帰宅することができる「らくらく会計システム」を利用できる「コンシェルジュアプリ」のご登録・ご相談も受け付けておりますので、お気軽にお声をかけてください。

# 県民健康講座



## 元気に働き続けるために ～治療と仕事の両立支援～

両立支援促進員 やなぎた みちこ  
柳田 美智子

(県立延岡病院講堂 2023.10.18)

「治療と仕事の両立支援」とは、労働者が仕事を理由に治療機会をのがすことなく、また、治療を理由に仕事の継続を妨げられることなく、適切な治療を受けながら生き生きと就労を続けられるように支援することです。対象疾患は、がん、脳血管疾患、心疾患、糖尿病、肝疾患、若年性認知症、難病などの反復・継続して治療が必要となる疾患です。

このような支援が始まった背景には、労働力の高齢化、事業場における疾病を抱えた労働者の増加があり、一方、診断技術や治療方法の進歩により病気や障害を持った労働者がすぐに離職する状況ではなくなってきたこともあります。

これからは、疾病や障害を持った労働者の就労継続のため、事業場への支援、医療機関との連携による治療と仕事の両立支援の更なる強化が必要な状況になります。

「治療と仕事の両立支援」の推進は、労働者側にとっては医療機関側からの情報を事業場に伝えることができ、職場の理解と協力が得られ、働くやりがいにつながります。事業場側にとっては、人材の確保、柔軟に対応している事業場であることを示すことができ、従業員の活力向上、業績向上につながります。

宮崎産業保健総合支援センターでは、治療と仕事の両立に関する相談に応じています。

**県北での治療と仕事の両立に関するご相談は、  
下記にお問い合わせください。**

**場所：県立延岡病院 患者支援センター**

**日時：毎月第3火曜日 14：00～16：00**

- 病気になるっても仕事を続けたい方
- 仕事を辞めるかどうか迷っている方
- 使える制度を知りたい方
- 治療中の従業員の支援を検討している事業場の担当者様など

**～お気軽にご連絡ください～**

**お問い合わせ先：県立延岡病院 患者支援センター TEL 0982-32-6181(代)**

# 県民健康講座



## 脳卒中を避けるために 知っておきたいこと

脳神経外科 にかわ しげゆき  
主任部長 西川 重幸

(県立延岡病院講堂 2023.12.20)

脳卒中とは①脳の中で出血する脳出血、②脳の血管が詰まり脳が壊死する脳梗塞、③主に動脈瘤が破裂することによりおこるくも膜下出血の総称です。過去には日本人の死因の重大な要因でしたが近年癌による死亡が増加しており、相対的に脳卒中は死因として減少しています。ところが寝たきりの原因としては上位に位置し、生活の質を著しく低下させる疾患であることは変わりません。国も単なる長生きの指標である平均寿命ではなく、健康に生活できている健康寿命を重視しています。国は2018年に血管病の治療成績をあげるべく、脳卒中対策基本法を施行しました。この法律の中で重要であるのは医療レベルの地域差をできるだけ小さくすることで、それを受けて日本脳卒中学会が脳卒中拠点病院を認定しました。宮崎県内には、急性期脳卒中診療をおこなう一次脳卒中センター、一次脳卒中センターコアといった施設が11施設存在しています（当院もその施設です）。

山間部、北部はそういった施設が乏しいのですが現在はインターネットを介して情報のやりとりをおこなっており宮崎県内で医療レベルの偏在が極力ないよう各医療機関、診療科間で協力しています。

脳出血に対して内視鏡手術、くも膜下出血に対して血管内治療といった新しい治療がありますが、特記すべきはここ10年ほどで急激に発達してきた血栓溶解療法、カテーテルを使用した血栓回収療法です。脳の血管が詰まったとしても脳が壊死する前に再開通できれば脳が壊死せず症状が改善します。これらの治療がおこなわれるためにはできるだけ早く病院に行くことが重要です。神経の機能は脳に局在しており、症状によりどの血管が閉塞したか推測することが可能です。特に右麻痺と失語症上、左麻痺と半側無視(左の方を無視する)は中大脳動脈と言われる大きな血管の閉塞である可能性が高く、緊急に治療が必要です。突然発症した眼症状も脳卒中の可能性が高く、早急に病院を受診する必要があります。特に心房細動の既往がある方は要注意です。

脳卒中は、早く病院を受診すると症状の増悪を防げる可能性があります。様子がおかしい時はしばらく様子を見るのではなく、救急車を呼ぶなど、早急に病院に到着することが重要です。

# 地域医療機関紹介



渡辺 裕之 院長

## 医療法人 仁徳会 渡辺産婦人科

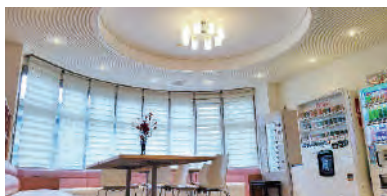
当院は日向市平岩のサーフィンのメッカ、「お倉ヶ浜」と「金ヶ浜」の間の風光明媚な地にあります。

大正8年に地域住人が協力して病院を誘致したと聞いており、100年以上にわたって地域医療に貢献しております。

現在は産婦人科のみになっておりますが、分娩のみでなく不妊治療にも力をいれており、県北地域唯一の体外受精、顕微授精が可能な施設として、一人でも多くの方の、赤ちゃんを授かりたい想いのお手伝いをしております。

毎年300人を超える分娩、100人を超える新たな不妊治療による妊娠、また開始以来200人を超える赤ちゃんが体外受精ですでに誕生しています。

分娩に関しては、24時間常に助産師が勤務する体制を構築し、不妊治療では、不妊コーディネーター不妊カウンセラーを配置し、安心安全をモットーに今後も日向市の産婦人科医療に貢献してまいります。



2F 談話室



外 観

住所：宮崎県日向市大字平岩718番地 TEL：0982-57-1011



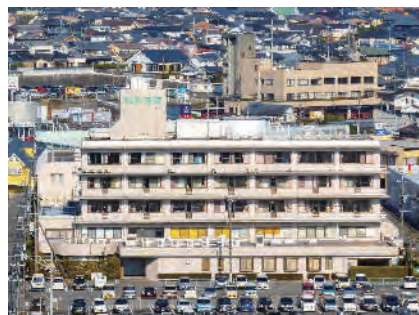
伊藤 康司 院長

## 医療法人 誠和会 和田病院

当院は、戦後間もなく地域医療も未熟だった1949年に和田外科医院を開設したのが始まりです。地域住民から「日向市に24時間体制の医療を」との要望に応えるべく、診療所から24時間体制の救急、地域医療を始めたのが我々の原点です。1952年には医療法人化し和田病院となり、1987年に現在の日向市駅近くに増床移転しました。

現在も一次脳卒中センター（P S C）を取得するなど、日向・入郷医療圏における救急医療の役割を担うと共に、在宅療養支援病院として地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟、訪問診療や訪問看護等の在宅復帰に向けた機能の充実を図り、“治療から在宅まで切れ目のない医療の提供”を目指しています。

より集中的、専門的な治療が必要な疾患においては、県立延岡病院をはじめとする高次医療機関との連携が必要不可欠となっています。今後も日々の情報交換を通じて密な連携体制を継続し、地域の患者さまに最良の医療を提供できるよう励んでまいります。



外 観

住所：宮崎県日向市向江町1丁目196-1 TEL：0982-52-0011

## トピックス④

# 地域医療機関との交流会 「連携の集い」を開催しました！

県立延岡病院と地域医療機関が互いに関係を強化し、県北地域の医療連携を推進するため、交流会「連携の集い」（医科部門・歯科部門）を開催しました。

この交流会は令和元年度に初開催して以来4年振りの開催を迎え、当院の各診療科・センターの取組みや今後の展望等を紹介したほか、医療関係者同士の交流・意見交換をおこないました。

今後も地域の医療機関の先生方と「顔の見える関係」を構築し、より一層連携を深めて参ります。

### 医科部門



令和5年10月17日(火)に「連携の集い」（医科部門）を開催し、当日は160名近くの医療関係者の皆様に出席いただきました。

### 歯科部門



令和5年11月16日(木)に「連携の集い」（歯科部門）を開催し、当日は60名近くの歯科医療関係者の皆様に出席いただきました。

## 新任者紹介



### 救命救急科 医長

はた なか けん ご  
**畠 中 健 吾**

(令和5年11月着任)

宮崎県北の地域で働くのは久しぶりですが、地域に貢献できるよう精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。

## トピックス⑥

# 「For Northern MIYAZAKI」結団式をおこないました!



「For Northern MIYAZAKI」というロゴをご存知でしょうか?

当院は、昭和24年12月の開院以降、宮崎県北地区の医療の中核病院として地域に根差した医療を展開してきた歴史があります。この先人達の偉業を引き継ぎ、決して絶やさず、より一層の県北全体への貢献を背負うことを目に見える形にしようと、「For Northern MIYAZAKI」を背中にプリントしたポロシャツを作成しました。病院内外を問わず、みんなで「宮崎県北地区のために」を背負っていこうという願いが込められたポロシャツとなります。

DMA T 隊員と災害支援ナースは、県北医療機関の災害訓練への参加という形で「For Northern MIYAZAKI」が期待されることから、10月23日に寺尾院長よりこのポロシャツが手渡され、結団式が開催されました。救急外来に集ったスタッフのひとりひとりにあたたかい言葉が添えられて手渡しでもらったポロシャツはとても重たいものとなりました。

このポロシャツは、県北の医療を支える志のある方であればどなたでも着ていただけるよう病院名も所属名も記載しておりません。県北の医療を少しずつ盛り上げるべく、まずは当院から県北全体に「For Northern MIYAZAKI」のコン



## 研修医日記

### 中村美優

今回研修医日記を担当する研修医一年目の中村美優です。宮崎市育ちで、出身は宮崎大学です。

私は食べるのが好きで、最近病院の検食にハマっています。管理栄養士の皆さんや院長と一緒に楽しく食べているのですが、野菜やフルーツが新鮮で味付けもおいしい上に、栄養バランスも取れているので最強食事だと思っています。その影響もあり自分でも手料理を始めたのですがまだまだ下手くそで、家族6人の食事を作っていた母や祖母はすごいなあと感じています。

現在私は、総合診療科で研修をしていて、指導医である松田先生と一緒に、毎日様々な症例について、意見交換しながら外来・入院治療をおこなっています。

主体的に治療方針を考えるのは難しいですが、自分の出来ることが広がっていくので、嬉しい気持ちでいっぱいです。



最近の思い出としては、病院スタッフみんなで鮎やなに行き、出来立てほやほやのふくら鮎を食べたり、研修医でアイデアを出し合ってスクラブを制作したりしました。これからもごはんをしっかり食べて元気に研修医生活を送りたいと思います。





# 感染管理科便り



みなさんこんにちは。寒さが厳しい季節になってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？今回は、報道が増えている食中毒の中でも「腸管出血性大腸菌感染症」について話をしたいと思います。

腸管出血性大腸菌（O157、O111など）は、主に牛などの家畜の腸内にいる細菌です。牛の糞などを介して牛肉やその他の食品などに付着したり、井戸水などを汚染します。腸管出血性大腸菌は、少量の菌からでも感染するため、手指や調理器具などからの二次汚染にも注意が必要です。菌が付いた食品を食べたり、汚染された井戸水を飲むと、2日から7日くらいで、発熱や激しい腹痛、水溶性の下痢、血便、吐き気、おう吐などの症状が現れます。抵抗力の弱い子どもや妊婦、高齢者は特に重い症状になりやすく、注意が必要です。

感染症対策としては、料理の前や排便の後は、きちんと手洗い・手指消毒をしましょう。腸管出血性大腸菌は、色々な消毒剤に対する抵抗性が弱い細菌です。消毒用エタノールをはじめ、次亜塩素酸ナトリウムなど、市販されているほとんどの消毒剤が有効です。

食中毒対策としては、肉類を生で食べることは控え、よく加熱しましょう（75℃、1分以上）。生肉を扱ったあとは、手洗い・手指消毒をしてから他の食品を扱うようにしましょう。肉と他の食品は調理器具や容器を分けて処理や保存をしましょう。生肉に触れた調理器具は良く洗い、熱湯や消毒用エタノール、次亜塩素酸ナトリウムなどで消毒しましょう。

万が一、家族に感染者が出た場合は、感染者と同じ飲食物を摂取した人や、同居する家族などが感染していないかどうか診断を受けることが必要です。家の中では、水洗トイレの取っ手やドアのノブなど、菌の汚染を受けやすい箇所を適時消毒しましょう。



## 編集後記

〈編集長 呼吸器外科 主任部長 能勢直弘〉

明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。

という挨拶。1月1日が来ることは前々から分かっていたのに、なぜ年が明けたらおめでたいのか？小学生の時「明けたらどうだというんだい！」と年賀状に書き、友達を失った（こんな年賀状を書く子とつきあうなと親に言われたらしい）苦い経験を思い出し、この疑問に終止符を打つべく調べてみました（表参照）。

〈ネットで見つけた諸説表（真偽不明）〉

説	解説
①1月1日が日本国民全員の誕生日だからみんなお誕生日おめでとう説	現代は満年齢で戸籍管理されているが、戦前は暦年で管理されていたため国民全員1月1日に1歳年をとっていたとの事。
②その年その年の神様がいます	例えば今年で言えば2023年の年神さまが役目を終え、2024年の神がこのたび年の神さまに就任したので、その年神様にたいして就任おめでとうと言っている。
③そもそも新年がめでたいのではなく、平穏無事に昨年過ごせて「1年間頑張って生きたね。よかったね。おめでとう！」説。	確かに喪中の方に年賀状出さない。
④その他たくさんの説有り。	どの説ももっともらしいが、確固たる裏付けのあるものは見当たらず。

④が実際的那样で、結局理由はどうしてもよいと思うようになりました。新年を迎えることに個々人が個々人の意味を思えばそれでよいのではないかと。

そこで能勢の調査結果は、「⑤“明けたらどうだというんだい！”より“おめでとう！”のほうがやる気が出るから」です。その上で“やる気あるこの自分を「今年もよろしく」という意味である。という能勢説にもとづきあらためて、

**明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。**

# 宮崎県立延岡病院 外来診療・病棟案内

● 外来診療については、かかりつけ医の紹介状と病院・診療所からの事前予約が必要です。

令和6年1月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金	特殊診察等
内科	呼吸器 (新患) (再診)	味志 山口	- 天神/古閑	山口 再診担当医	天神 山口	古閑 味志	(水)(金)午後……………気管支鏡検査 (火)(木)……………腹膜透析外来 (火)(水)(木)午前……………上部消化管内視鏡 (火)(木)午後……………下部消化管内視鏡 (火)午後……………腎内手術
	血液	外山	外山	外山	外山	外山(再診)	
	消化器 (新患) (再診)	平田・小野 市成	- -	- -	- -	市成・小野 平田	
	腎臓	-	-	西園	-	西園	
呼吸器外科	能勢(再診) 手術	能勢 濱廣	能勢 濱廣	能勢 手術	能勢(再診) 手術	(月)(木)(金)……………手術 (水)(金)午後……………気管支鏡検査 (水)午後……………禁煙外来(院内コンサルトのみ)	
外科・消化器外科	土居 石躍	土居 本田	手術	原田 本田	石躍	(月)(水)(金)……………手術 (火)(木)……………特殊検査 ストーマ外来	
心臓血管センター	心臓血管外科	松山	手術	松山	手術	松山	(月)(火)(木)……………手術
	循環器内科	森	黒木	検査 手術	山本(展)	白濱	(月)~(金)……………手術・検査 (月)~(金)9時30分~…心臓カテーテル (月)(水)(金)午後……………ペースメーカー外来
整形外科	井口 小園 大倉 飯田	栗原 大倉 北島 石原 飯田	手術	栗原 小園 北島 石原 井口	手術	(月)(水)(金)……………手術 毎月第3(金)……………こども療育センター外来 (脳神経外科にて診察)	
	歯科口腔外科	手術	山本(哲)	山本(哲)	山本(哲)	山本(哲)	(月)……………手術 毎週(木)午後……………手術
			山下(沙)	山下(沙)	山下(沙)	山下(沙)	
			相川	相川	手術	相川	
産婦人科 周産期科	山内 大塚(晃) (午前) 大澤(午後)	手術	大塚(晃) (寺尾)・(都築) (午前) 大澤(午後)	手術	第2・第4 都築 大塚(晃) (午前) 山内(午後)	(火)(木)……………手術 第1・第3(金)……………宮崎大学非常勤医師 水曜日午前 第1・第3…都築 第2・第4…寺尾	
	耳鼻咽喉科	猿渡	猿渡	手術	猿渡	猿渡	(水)……………手術 (月)……………難聴外来 (火)(金)午後……………嚥下外来(院内コンサルトのみ)
	小児科	中村 佛淵 大富	- 久保田 大富	中村 佛淵 久保田	中村 - 佛淵	- 久保田 大富	(月)午後……………予防接種(指定患者のみ) (火)(水)午後……………慢性疾患 (木)午後……………乳児検診・フォローアップ外来 8月~3月 シナジス
脳神経センター 脳神経外科		穴井 村井	手術	西川	手術	穴井 西川	(火)(木)……………手術 (月)(水)午後……………血管造影
		皮膚科	後田 福良	後田 福良	後田 福良	手術	後田 福良
泌尿器科	山下(康) 石川 大塚(武)	山下(康) 石川 大塚(武)	手術	山下(康) 石川 大塚(武)	手術	(水)(金)……………手術	
	総合診療科	-	松田	-	松田	-	

※緊急以外の新患の受付は、午前11時00分までです。  
※精神科・脳神経内科・眼科は現在休診となっております。

## 病棟フロア

	西側	東側
7階	リハビリテーションセンター	呼吸器センター 耳鼻咽喉科、歯科口腔外科
6階	整形外科	消化器センター 泌尿器科
5階	心臓血管センター 内科、人工透析室	内科
4階	女性病棟(産婦人科、内科 循環器内科、外科(乳腺))	小児科、周産期センター 内科、循環器内科、皮膚科
3階	救命救急科(全科) 集中治療センター、HCU、手術	脳神経センター 救命救急科、総合診療科

### ☆☆☆ 院内セキュリティ強化について ☆☆☆ (お知らせとお願い)

不審者等による院内への侵入を防止するため、夜間(18時から翌朝8時まで)や土日祝日(年末年始を含む終日)においては、院内への入口を南側救命救急センター横の夜間・時間外入口(警備員室前)1箇所のみとさせていただきます。



健康増進法第25条の定めにより、受動喫煙防止のため、敷地内での喫煙を禁止します。

### 広報委員会からの お知らせ

広報誌へのご意見・お問い合わせにつきましては院内のご意見箱、FAX0982-32-6759 または <https://www.nobeoka-kenbyo.jp/> まで!